

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

独立な小問2題からなる問題が2題あった。文系との共通問題 (類題を含む) はなかった。

その他トピックス

数学Ⅲの比重、計算力の比重が高い。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	問1	数B 数A	平面に関して対称な点を求める 玉を取り出す反復試行	やや易 標準
	問2			
2	微分法	数Ⅲ	長さの最小値	標準
3	極限	数Ⅲ	ド・モアブルの定理が有効	標準
4	積分法	数Ⅲ	曲線の長さ	標準
5	図形と方程式	数Ⅱ	軌跡 (数学A「図形の性質」でも解ける)	標準
6	問1	数A 数Ⅲ	対偶を示す。素数でないことの証明 原点と結ぶ直線の傾きを考える	標準 やや難
	問2			

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

論理的な思考力と論証力を養うこと。誘導する小問がない形で出題されることが多いので、方針を立てることや有効な設定を考えることを意識して、誘導する小問を削除した問題でも練習しておくべきである。